

仙台東支部だより

第71号

令和4年1月26日
発行 者
宮城県看護協会
仙台東支部
編集責任者
仙台東支部
広報委員

ご挨拶

仙台東支部支部長
公益財団法人 仙台市医療センター 仙台オープン病院 和知 洋子

仙台東支部長の和知です。仙台東支部の皆様方には平素活動にご理解いただいておりますことに深く感謝申し上げます。
さて、今般のコロナ禍で、ほとんど活動できなかった中、皆様のご理解のもと活動を再開しようと奮闘して参りました。活動再開に辺り、看護管理者の皆様には支部活動に何を期待しているか、アンケート調査を行いました。結果をお伝えいたします。

アンケートは182施設にお送りしました。回答は21名で回答率11.5%で、予想以上に少なかったことに認知度の少なさを認識したところです。

内容は、定期的な看護管理者の会でネットワーク会議やカンファレンスの開催の必要性に16名(76.2%)・どちらでもない・状況によるは5名(23.8%)で必要なしはゼロでした。カンファレンスで希望するテーマについては、コロナ禍により「感染対策」が多く、次に「看護管理者としての情報共有や人事管理」についてが多く認められました。また、仙台東支部活動に期待する事については上位から看護管理の情報共有・感染管理の情報共有・研修会・看護管理者のネットワーク・医療安全対策・その他、地域医療連携や多職種連携等でした。仙台東支部活動に関するご意見については、支部活動がよきコミュニティになることや時事情報の共有や相談が出来ること、更にはこの地域に住む市民のニーズや会員のニーズに沿った企画の継続を希望されるなどのご意見を頂きました。

これらの内容により、看護管理者の会や地域交流会を進めているところです。また、この結果により、仙台東支部の看護管理者のネットワークによる情報の共有のために「Eメールアドレス」を管理させていただくことにほぼ92%以上の方に同意を頂きましたので、今後の活動に活かしていく所存です。

仙台東支部がICT(情報通信技術)により、タイムリーに情報の提供や共有・相談環境へつなげていけたらと考えています。

令和3年度 仙台東支部役員紹介

- 皆様に次のような質問に答えていただいています。
①コロナ禍の中でステイホームとなり習得した特技、または、マイブーム、ストレス解消について
②会員の皆様に一言

東支部長 和知 洋子(仙台オープン病院)

- ①特技?かどうか、家庭菜園でキュウリ・トマト・オクラ・ししとうを収穫でき、美味しく頂きました。
- ②支部長になって早半年、ようやく「支部だより」をお送りすることができました。よろしくお願いいたします。



副支部長 斉藤 朋子

- ①私が始めたのは刺繍です。以前やっていた手の動きをすっかり忘れていましたが、集中する時間があり取り組むことができ、完成した作品に達成感を感じられました。
- ②昨年度からコロナ禍の影響で活動が限られてしまいましたが、皆様と協力して前向きに楽しく支部活動を行っています。今後ともよろしくお願いいたします。

書記 岡本 直美(仙台東脳神経外科病院)

- ①私のストレス発散は、休みの日に作り置きおかずを作ることです。2時間で6〜7品作り一人で充実感に浸っています。
- ②スムーズに支部の活動が行われるように書記として頑張っていきたいと思います。



佐藤理江子(東北医科薬科大学病院)

- ①以前よりランチにヨーグルトを食べる習慣で、味も「小岩井乳業のIMUSU」が好きで、チーズを思わせるクリーミーな味です。IMUSUは、話題のプラズマ乳酸菌で、コロナ禍で免疫力アップを期待し、最近低脂肪タイプも発売され魅力的です。
- ②今年度より、初めて役員となり解らない事ばかりでご迷惑おかけするかとありますがよろしくお願いいたします。

会計 桑原 香織(仙台東脳神経外科病院)

- ①コロナ禍で、ステイホームとなり身につけた特技は特にありませんが、うちのネコと遊んだりまったりすることが癒しになっています。
- ②東支部会員の皆様 一緒に東支部の看護を深めていけるよう尽力いたします。よろしくお願いいたします。



半田 咲(光ヶ丘スベルマン病院)

- ①昔習っていたピアノをもう一度始めてみました。リフレッシュできて楽しいです。
- ②今年からお世話になっています。至らない点もあると思いますが、頑張りますのでよろしくお願いいたします。



職能委員 日下早知子(中嶋病院)

- ①家にいる間は庭にお花や野菜を植えるようになりました。来年はもっと野菜を増やしてみようかなと思っています。
- ②今年職能委員2年目となりました。皆さんと交流できることを楽しみたいとおもいます。

青木眞砂美(仙台オープン病院)

- ①快適な部屋作りと、自炊する機会が増えたのでコストコに行って買い物を楽しんでいます。
- ②コロナ禍で活動が思うようにできない状況ですが、自分にできることを精一杯頑張りますのでよろしくお願い致します。

菅原 真澄(仙台医療センター)

- ①旅行や外食に行けなくなったので、自宅での料理に時間とお金をかけるようになりました。娘たちもパンを一から作るようになりました。
- ②皆さまのお役に立てるように頑張ります。

角田美代子(光ヶ丘スベルマン病院)

- ①なかなか自分自身の時間を作ることができず、日々の業務に追われております。
- ②今年から職能委員になりました。よろしくお願いいたします。



教育委員 大戸 広美(仙台オープン病院)

- ①本棚の片付けや処分の際、もう一度読み直しをしています。内容は勿論、当時の出来事など思い出して時々懐かしい気分になっています。
- ②皆さんに興味を持っていただける勉強会の企画・運営に努めます。

紺野 美香(仙台看護助産学校)

- ①ストレス解消は、近くの牧場に行き動物と触れ合うことです。三密も回避できるため絶好の癒しスポットです。
- ②コロナ禍ですが、支部で学習会を企画してまいりますのでご参加をお待ちしています。

二瓶はる美(仙台東脳神経外科病院)

- ①お取り寄せで美味しいものを食べてストレス解消しています。
- ②コロナ禍で従来通りの活動ができない状況ですが委員の皆さまと協力して、少しでもより良い活動をしていければと思っています。



鈴木 陽子(安田病院)

- ①マイブームと言っているのか?コロナ禍で冷凍食品を購入することが多くなり、いろいろ試すのが楽しいです。
- ②少しずつですが、委員会活動が出来るようになりました。仙台東支部主催の講演会などお時間が合えば、是非参加して頂ければと思います。宜しくお願い致します。

広報委員 高橋 奈美(仙台医療センター)

- ①コロナ禍で多肉植物にはまりました。種類も多く、綺麗です。また、土に触るのは癒しにもなるそうです。
- ②広報の皆で、皆さんの癒しになれるように記事をお届けします。



對馬 剛(岩切病院)

- ①ステイホーム中は子供も少しゲームができる年齢になってきたので、一緒にゲームを楽しんでいました。
- ②コロナ禍で医療物品の不足や面会制限などまだ大変な状況ですが、引き続き頑張ります。

岡崎 純子(東北医科薬科大学病院)

- ①私は飼っている黒柴との時間を充実にご過しております。休みの日は近くの公園に行き伸びるリードつけて一緒に走りまわっています。
- ②皆様に良い情報を発信できるように委員の方と力を合わせて活動していきたいと思います。



推薦委員 松岡 幸生(仙台医療センター)

- ①コロナ禍のステイホームでは近場の散歩で気分転換でした。でも、新しい発見もありました。
- ②微力ですが推薦委員として東支部の病院と病院の繋ぎ役として活動して参りたいと思います。宜しくお願い致します。

菅野 陽子(仙台オープン病院)

- ①マイブームではありませんが、体力をつけるために散歩を始めました。週2回を目標に30分ずつ歩いています。
- ②委員の役割を微力ながら務めていきたいと思っています。宜しくお願いします。

遠藤 佳子(東北医科薬科大学病院)

- ①引っ越しを機に断捨離をし、整理整頓を心掛け部屋をきれいに維持し快適な環境を維持するように生活しています。
- ②支部会の活動を会員の皆様に知ってもらえたらと思います。

